

世界樹のあのね

XX3
後編





しばらく
ですね

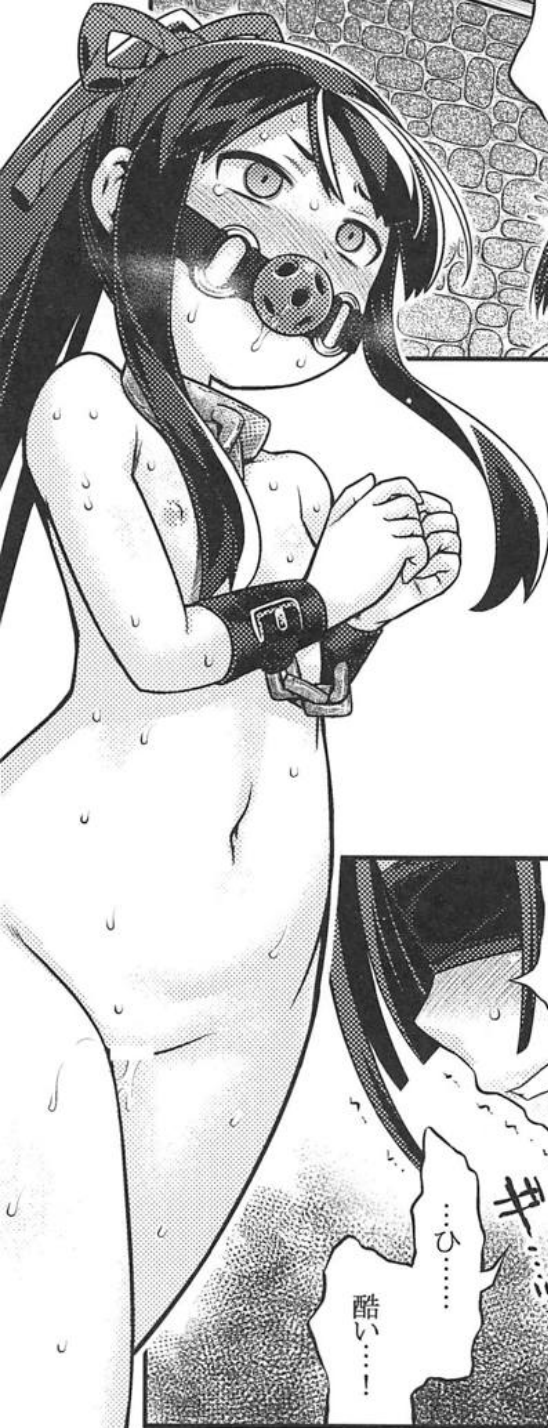
お加減は
いかがですか？

は

あえ…
うえ…

はえつへえ
おうてえ

貴女は
こちらですよ



…だつ

誰っ!?

誰か他に
いるのですか
……っ!?

ふふっ

新しい奴隷ですよ

これから
躰けようと思ひましてね
連れてきました

酷い……!
……!

姉上……っ!

姉上っ

あれだけ
好き放題弄んで
私一人では
飽き足らないの
ですか……っ!

我が身よりも
後輩の
心配ですか

いいですね
気高いです

ではまだ
いつものゲームを
してみますか？
勝負しましょう

私が絶頂するまでに
貴女が気をやらずに
耐えることが
出来たら

こちらの
奴隷は
開放
しましょう

もう十分でしょうっ
開放してあげて
ください……!



……う……

う……う……



姉上……
そうだ

私は耐えられずに
無様に絶頂させられたが
姉上なら……



あ……

う……



どうですか？

やってみますか？

ニヤニヤ



おやおや
ずいぶんと弱気に
なつてしまいましたね

た……

それでは
ごうじまじょう



堪えられる……
わけない……

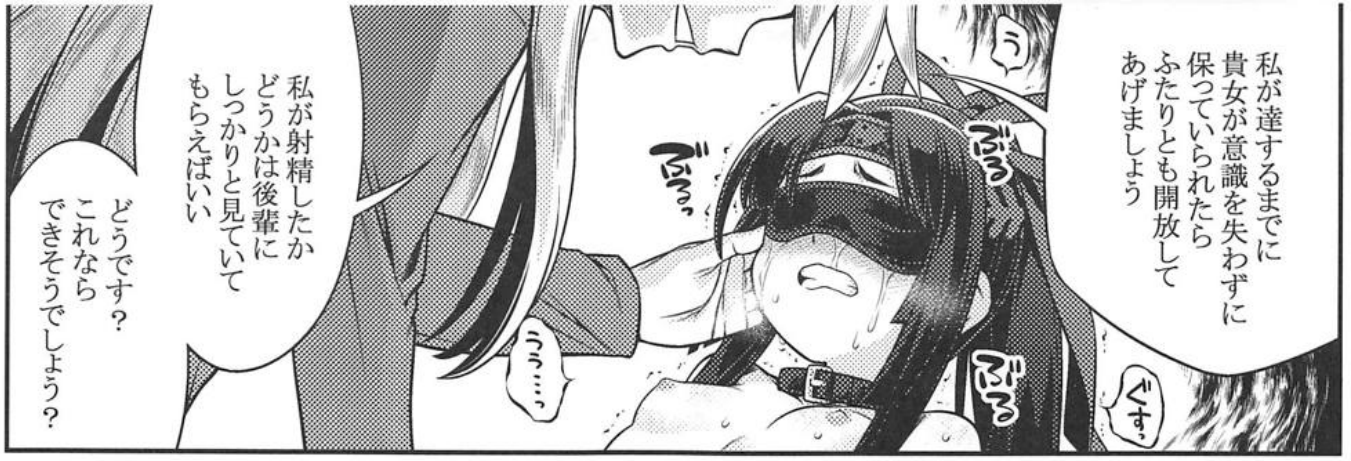
ぐ……
ぐ……

めちやくちやに
犯されて……
すぐにイカされちゃう……



無理……

です……



私が達するまでに
貴女が意識を失わずに
保つていられたら
ふたりとも開放して
あげましょう

私が射精したか
どうかは後輩に
しっかりと見ていて
もらえばいい

どうです？
これなら
できそうですよね？



それに
受けようと
受けまいと
今から犯される
ことに変わりはないのですから

やらねば
損という
ものですよ



それでは
貴女を
不安そうな目で
見ている後輩に

姉上……

姉上……

はぁ……

抱負を聞かせて
あげなさい



わ……
わかり……ました……

やります……っ

それはよかった
がんばって
くださいね♡



あ……あの……
私……っ
がんばって……
耐えます……から

どうか安心して
見守っていて
ください……

一緒に
帰りましょうね……!!



姉……

上……



しよっ…勝…負
する…のでは…あつ

あ……

あの……っつ

どうしました？

もちろん

もう始まつて
いますよ？



そ…そん…なっ

勝負はどちらが先に
果てるかですから…
このまま指で貴女を
失神させてしまつても
いいわけです



ではいきますよ♡



お…願ひ

します……



後輩も
います

お手本を見せて
あげなさい

情けが欲しいですか？
ならばどうすればいいのか
教えてあげましたよね



おや

こちらはすでに
臨戦態勢
ですね



お情けを...くださいませ...
どうか...
わ...私の雌穴で...

あう...うう...
カキカキ

ご主人様のおちんちんを
抜かせてください...



脚を自由にして
あげます
カキカキ
カキカキ



...失礼
します...



貴女の準備は
万端のようですから
私の方の準備を
しなさい

は...はい.....



いい具合です
上手に
なりましたね
……っ

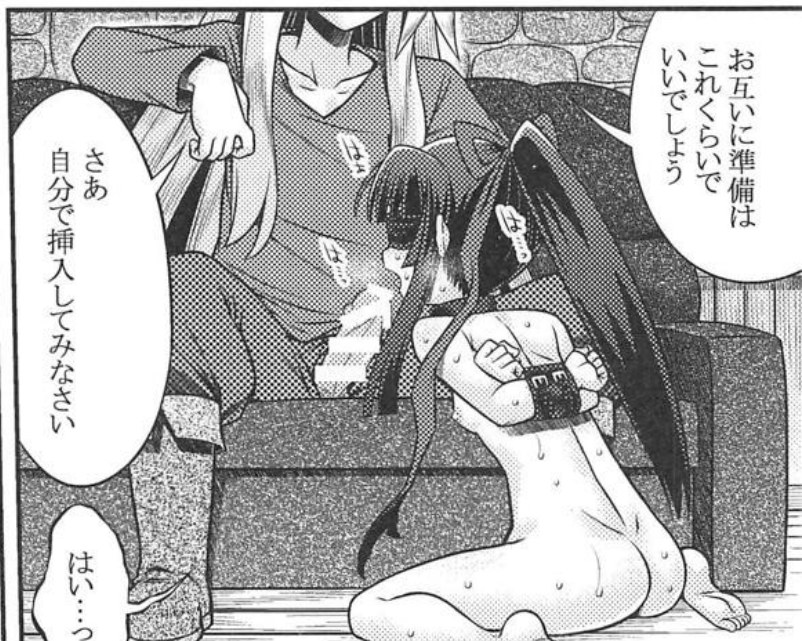


このままでは
射精させられて
しまいそうです
貴女も策士ですね



そのまま
ゆっくり…ゆっくり…
腰を落とすんです

いいですよ…



お互いに準備は
これくらいで
いいでしょう

さあ
自分で挿入してみなさい

はい…っ



おやおや
挿入だけで達しているでは
ありませんか
だらしな

条件を変えておいて
よかったですね

早々に達した貴女を見て
後輩が信じられないという
顔をしていますよ

ごめ…なさいっ

ごめんなさいっ…

きつと…た…
耐え…ますから…



ふふふ
今日はこれでも
我慢してる
方なんですよ
でも後輩はそんなこと
知りませんしね

せつかくなので
自己紹介して
あげましょうか

貴女がここに来たのは
いつ頃でしたか？

あ……
ふた月……くらい
前です……

一人で……迷宮に
いた所を捕まえられて……

はっ
はっ
はっ

ここへ連れて
こられました……

はっ
はっ
はっ



姉上の行方が
わからなくなった頃だ……
あの時から
すでに……！

そ……
それから……
毎日……
めちやめちやに犯されて……
性奴隷に……
されてしまいました……



最初の頃の
剣幕は
凄いものでしたね

ずいぶんと口汚く
罵られたものです

は……はい……

でも毎日丹念に

失神するまで
犯してあげた
このように
素直になつて
もらえました

うう……



この通りですけどね

は…はい…



それでも過去の奴隷に比べたらとても強情でなんと奴隷宣言をさせるのに五日もかかってしまったんですよ

それからは全身隈なく愛撫して開発してあげましたので



私の身体で……ご主人様……の……舌と指の這っていない場所は……もうどこにもありません……

ふふふ

とびと



先程から私を射精させるためでなくご自分が気持ちよくなるために腰を振ってませんか？

そっ そんな……こと……ない……です……っ

嘘はいけませんね

しばらくご無沙汰
でしたからここが
切なかつたのでしよう!?

どうですか?
久々に
啜え込んだ
肉棒の味は

きもち……

すすっ

きもち……
すすっ

はははっ
素直でよろしい

あんなに
厳格だった
姉上が……

姉上

嘘だ……
こんな……

姉上……

姉上

嘘でしょう……

ウソ……
姉上……

姉上……



姉上

ふふふ
ずっと達して
いませんか？

姉上

〜お胸〜
〜お尻〜
〜お股〜

姉上っ

姉上



姉上…っ

貴女をすぐにでも
めちやくちやにして
しまいたい衝動を
ずっとこれを使って
抑えていたんですよ？
感謝しなくてはね



姉上っ



あね……

あ
あ

ね

うえ……

え



あぁ……あぁ……

………



貴女が無様に善がついているのを見て

ああ♡

ふふふ

あうっ

あぁ

あうっ

あぁ……あぁ……♡

あうっ

ああ……うめい

うめ……うなざいっ



あうっ

後輩は呆れ返っていますよ



それなら

ふふふ

おやおやそんなに膣内に私の子種を注いでほしいのですか？

はっ はっ

どうか……
どうかああああ



お願いじますっ

どうかっ

どうかイッてぐだぎいっ
どうかああ

あうっ

あうっ

あうっ

あうっ

あうっ



お互いに

あ...

う

ん...あ

い...あ...

そろそろ
ラストパートと
いきましようか

ああ

いきましよう

あ...

ん...

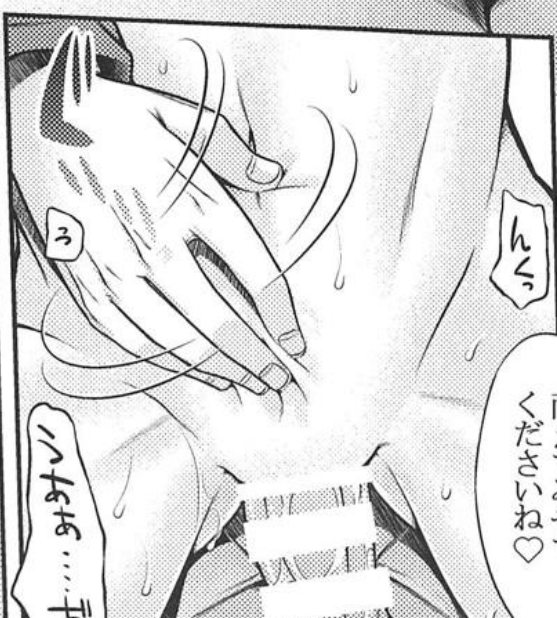


そ...それっ

アッ

そ...は...あ

あ...



う

い...あ...



耐えてみせて
くださいね♡

ん...

う

あ

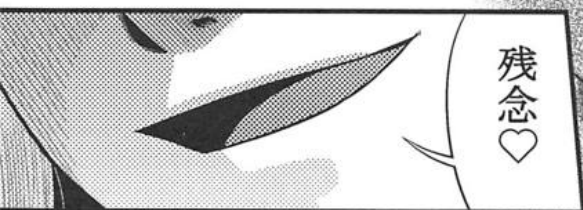




おや♡



失神して
しまったようですね



残念♡

後輩を救うことは
できませんでしたね

これでも今日は
頑張っていた方
なんですけどね



いつまでも
呆けて余韻に
浸ってる場合は
ありませんよ

ほら



うずうず

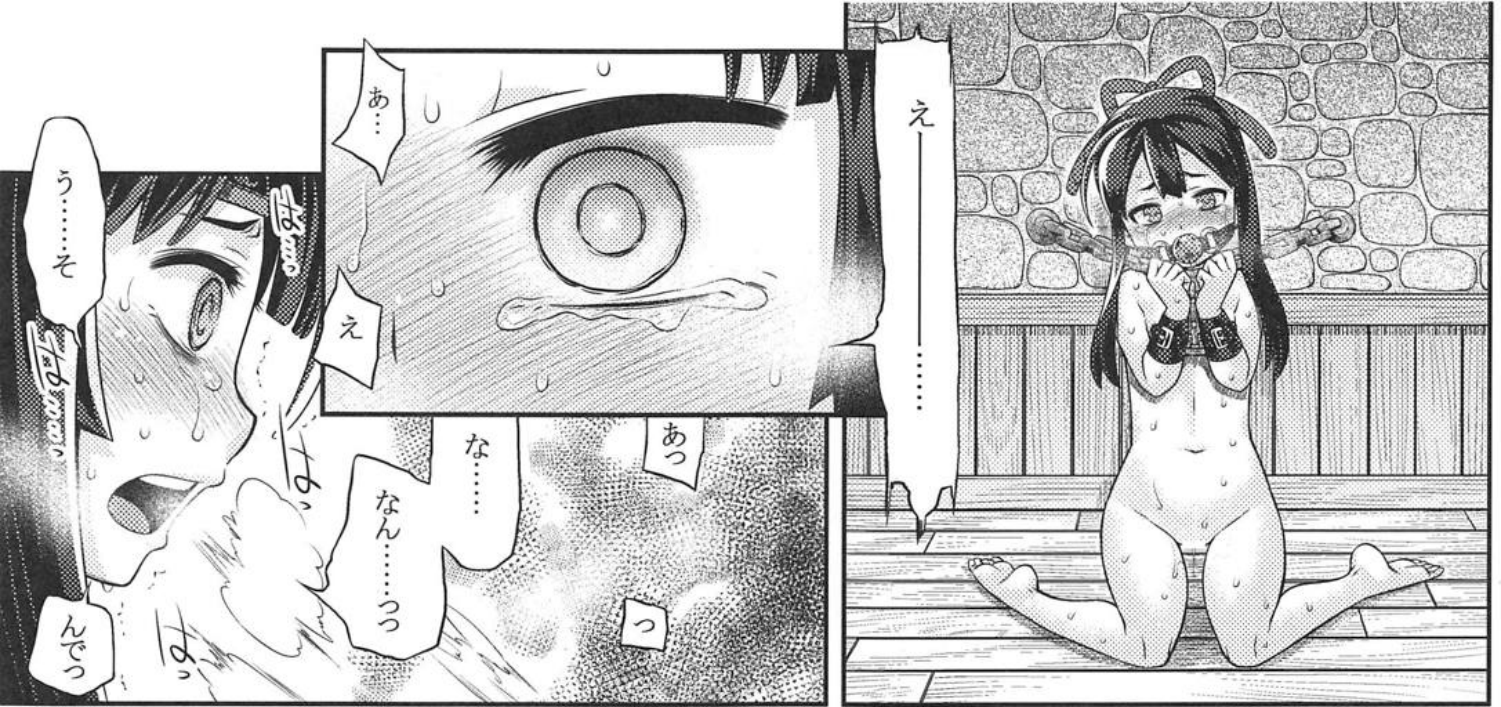
う… うず

ごめん…
なさ……う



貴女が無様なせいで
帰れなく
なってしまった
後輩に

謝らなくてはね



う……そ

あ……

え

え……

な……

あつ

なん……うっ

っ

妹さんに
痴態の一部始終を
観てもらえて
よかったですね♡

あ……

ふふふ

締りが良
くなりましたよ？
やはり妹さん
でしたか

あ

つながっている所を
もっとよく見てもらいましょう♡

あ

さあ

ま……

ま……

ま……



あ

あ

やめっ

おやおや

やめてっ
許してください
ご主人様
ああアアアっ

おねがひ
おねがひ
おねがひ

私はまだ満足して
いないですよ？
貴女が嫌なら
妹さんを使って
処理すること
になりますよ

っ
終わりたいければ
しっかりと締めていなさい

いまさらどうしたと
いうのですか？

無様に絶頂を繰り返すのを
ずっと観られていたというのに



ほら
どうしたのですか

いつものように
もつと腰を振って
悦びなさい

あうっ

びびり
びびり
びびり

今更なにを
恥じるのですか

近頃では
三日も焦らせば

あーあーあー

身体を震わせ股を濡らし
挿入すれば
自ら腰を振り
善がついていたでしょう??

さあ

あーあーあー

ひあ
あ

私達が
つながっている所を
妹さんに
しっかり見て
もらいましょう

おね...おね...
おね...おね...

あーあーあー

あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー



無様な姿を
観られながら

達しなさい!!!



これではしばらく
目を覚ましませぬね

ま
本日は
ゲストもいますし
休ませて
あげましょう



びしょ……

普段より遥かに
いい反応でした
よほど観られながら
されたのが良かったらしい



見ての通り
お探しのお姉さんは
私の可愛い奴隷です
シヨックだったでしょうか



さて

お待たせして
しまいましたね



よ…よせ
なにをしようとして
している…っ

あんな…最低の男の
目の前で…っ こんな…っ



姉上を目前で
侮辱され…
穢され…
たの…に…

私…は…っ



な…なんで私は…っ こんな…っ
この男に
観られている…
いる…の…に…

手が…
手が…
とめられない…
動かすの…
やめられない…っ

おや



こん…な…
恥辱を…受けて…



だめっ
んごう
こんな
しほ…
しほ…



手つきが少々
おぼつかないようですね

あまり自慰は
なさらないの
ですか？



足りないよ

足りないよおっつ

どうしました？
は……
は……
手が止まって
しまっていますよ

しかし私は
手を出せませんしね
困りましたね

ずいぶんと
物欲しそうな顔を
されていますね
ご自分の指では
満足できませんか？



もつとも

貴女の方から
欲しいとねだるなら
相手しないでも
ないですよ？

あ……
うあ……

でも……

また昨日みたいに
されたら
死んじゃう……

死んじゃう
よお……

なんだ

そんなことですか



簡単ですよ

あ...

そんな時はね
主人である私に
お願いを
するんですよ

くっ

どうか優しく
抱いてくださいと
甘い恍惚感を
味わわせてくださいと
おねだりするんです

精一杯
甘い声を出して
媚びなさい

お姉さんの
ようにね

可愛い奴隷が
一生懸命お願いするなら
その気になるかも
しれませんよ
私は優しいですからね

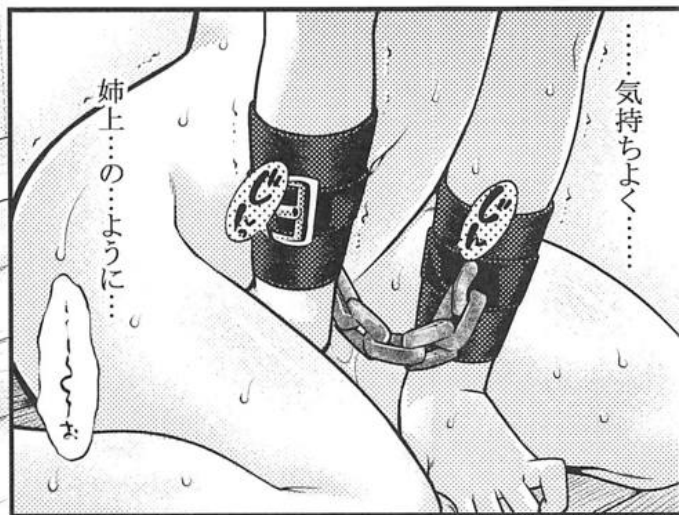


お願い……こんな……
こんな悪魔のような男に……

お願いなんて……

お願い……すれば……

どう……か……どう……か
やつ やさし……
抱いて……ください……
可愛がつてください……っ



……気持ちよく……

姉上……の……ように……



おねが……します……



素直に
なりましたね
良いことですよ

可愛い奴隷の
懇願です
聞いてあげましょう

さあ

欲しいところが
よく見えるように
自分で広げて
おねだりしてごらん



お願い
します...

ははは

ははは

よろしい

ははは



震えていますね
キスで達しましたか？

は…っ

はひ…っ

すっかり雌の表情に
なっていますよ

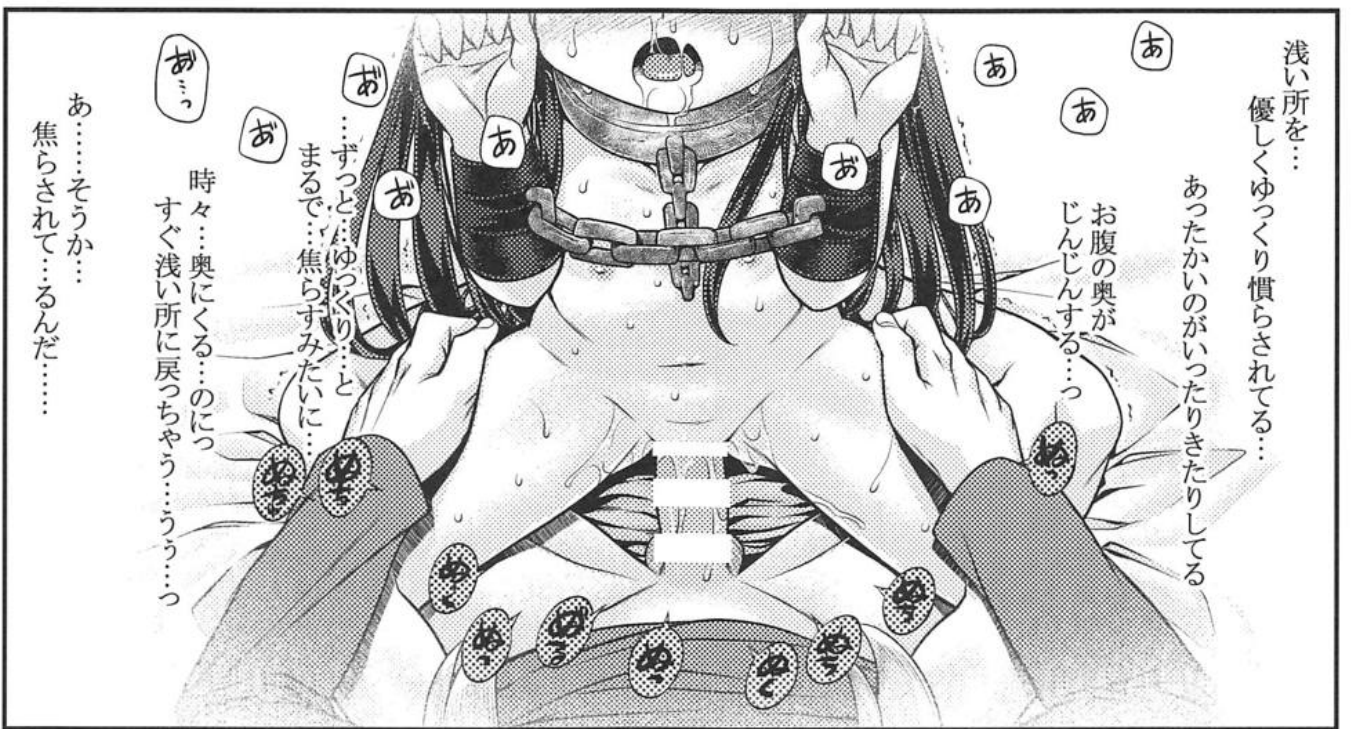
雌が髪を
上げている必要は
もうありませんね

下ろして
しまいましゅう
よろしいですね？

は…

はい…







あ……これ……
一突きで……



私が達するまで
しばらく
我慢なさい

いいですね

は……はい……
がま……しま……



……

……

……



これ……

す……

あ……

一突きとに
頭真つ白になっちゃう……

こんなの

おかしくなっちゃう……
のに……気持ちいいのとめられない……



この人の奴隷にならちゃってんだ……

私の身体はもう……
とっくの昔にこの人に
傅いちゃってんだ……

またイ♡♡

私……

ずっと耐えてた
つもりだったけど……

ああ……そうか



あ……

お待たせしましたね
さあ……行きますよ！

イ♡♡

♡♡



姉上も……

とても良かった
ですよ♡

あ……♡

きつそうだったんだろうな……

あ……♡

おや

お姉さんが
気がついた
ようですよ

挨拶して
あげなさい

はいっ

姉上っつ
みてくださーいっ

はっ

はっ

私…もっ
姉上と同じ
ご主人様の性奴隷に
してもらいまひたあっ♡

姉上と一緒にですっ♡

姉上が逆らえないのにつ
ずつと我慢してたなんて
わたひが馬鹿でしたっ

んっ

とっ

姉上よりも
夜伽の才能があるって
褒められましたっ♡
初めて姉上より凄いつて
いわれまひたあ♡

あ

ゆき

あっ

姉上と
一緒になれて
幸せですっ♡

ゆき

はっ

はっ

今までで
一番具合がいいつて褒めて
いただいたんですよっ♡

あ

あ

ふふふ
どうですか

おちあ♡

無様に善がる
貴女を目の当たりにして
タガが外れて
しまったようです

今のこの有様を見たら
信じられないでしょうが
妹さんは貴女の
何倍も責めに耐えて
らっしやったんですよ

耐えに耐えていた分
ひとたび折れてからの
急落っぷりも
何倍も凄かった
ですけどね♡

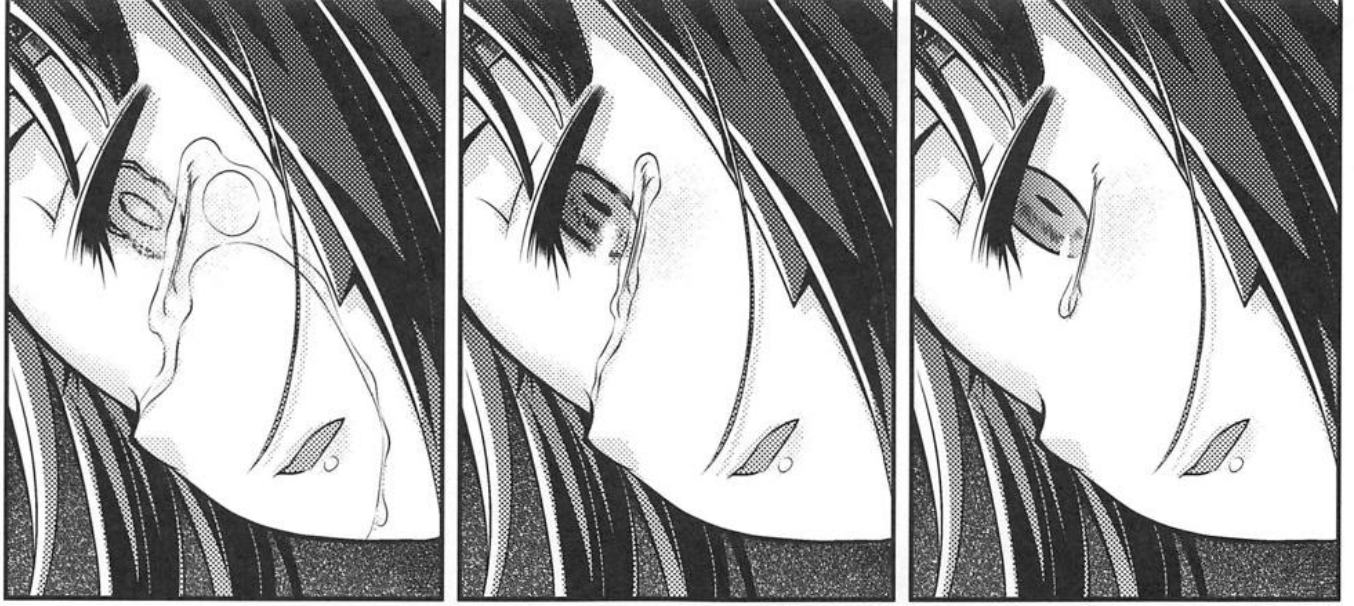
貴女がもっと早く
気がついていれば
ここまで壊れていなかった
かもしれせんね残念です

あ

あ

あ

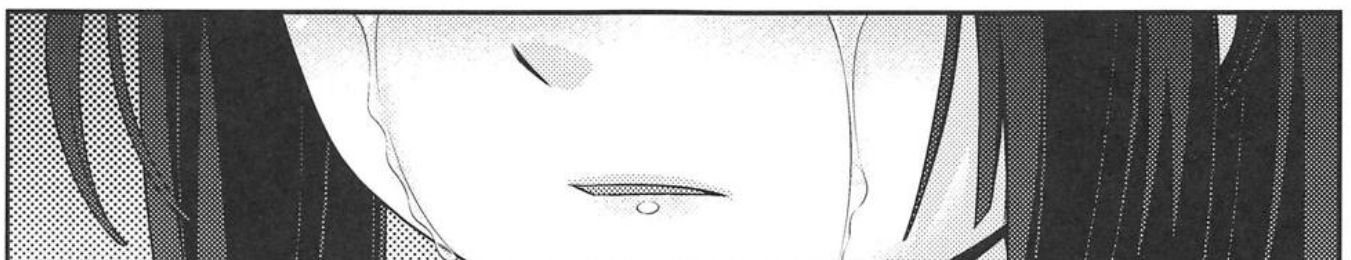
あ



さあ

いつまでも
寝そべっていないで
こちらに来なさい

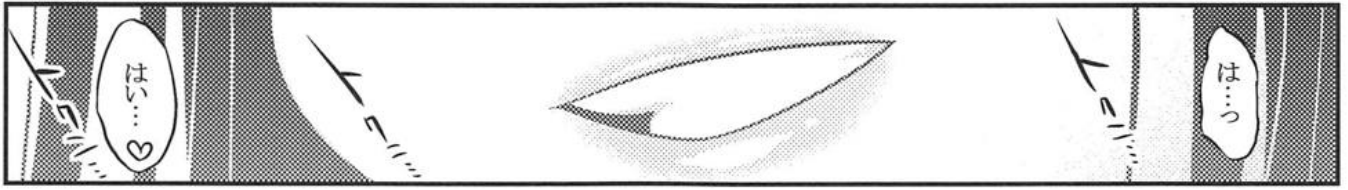
妹さんを
愛撫してあげなさい
一緒に可愛がつて
あげましょう



……はい……

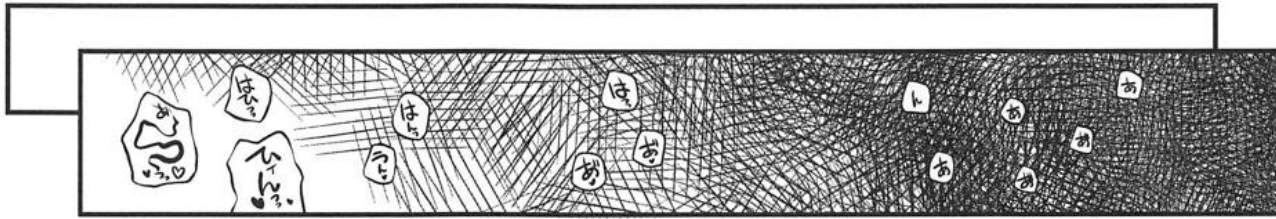


次は
貴女の番です
とろとろにして
あげますよ♡



は…♡

は…♡



ほらほらふたりとも
我慢ですよ
堪えなさい

お二人とも
今まで以上の乱れようだ
互いの痴態がそれほど
心に響きましたか

普段ならそろそろ
飽きが来る頃ですが
まだまだ
愉しめそうですね

先に達してしまった方は
お預けです
指を加えて
見ていたくはないでしょう？
ふふふ…まったく…



どこまで落ちていくのか

愉しみです

あとがき

しめきりです！ やばいです！

ネタ絵とか用意したかったけどそんな余裕もないので

終盤描き直したため作中に出なかったエロ下着姉上をおいておきます！

あとなんか話終わってない気がするので余裕があればさらに続きを描くかもしれません

余裕がなければ忘れてください！

それでは会場に本が届いていると信じて！

■誌名 : 世界樹のあのねX3 後編

■発行 : かぜうま

■発行者 : 南☆

■発行日 : 2019年4月29日

■連絡 : isogai@big.or.jp

■印刷 : サングループ

※未成年者の所持閲覧を固く禁じます

※無断転載・複製、ネット上へのアップロードを禁じます



FOR ADULT ONLY

2019 Spring. KAZEUMA MINAMI☆STAR

SEKAIJUNOANONE X3 Sequel

ANONENO SERIES:VOL068

